

## 第2学年道徳学習指導案

平成30年10月23日(火) 第5校時  
四万十市立東中筋中学校 第2学年11名  
授業者 中山 文

- 1 主題名 家族の深い愛 C(14) 家族愛、家庭生活の充実
- 2 ねらい 教材の中の母親と娘の思いのやりとりを考えるを通して、かけがえのない子供として深い愛情をもって育てられたことを感じ取り、家族の一員として、行動だけに終わらず家族間の思いのやりとりを大事にしていこうとする道徳的心情を育てる。
- 3 教材名 「誰かのために」 (出典:「わたしたちの道徳 中学校」 文部科学省)

### 4 主題設定の理由

#### (1) ねらいや指導内容についての教師の考え方

家族は、親子及び兄弟姉妹という関係により一般的に成り立ち、その一人一人が誰かと取り替えることができないかけがえのない価値を有する存在である。祖父母や父母が在ること、そして自分は、そのかけがえのない子供として深い愛情をもって育てられていることに気付かせることが大切である。そのことを通して、自分の成長を願い無私の愛情をもって育ててくれた父母や祖父母に対して敬愛の気持ちを深めることが必要である。子供の立場から家族を見つめ、家族の一員としてお互いを思いやりながら家庭生活を送ろうとする心情を育てていきたいと、本主題を設定した。

#### (2) 生徒の実態と教師の願い

昨年に比べ、家族の一員としての自覚が芽生え、家事を手伝ったり、家族との関係をよりよく築いていこうとする態度が見られているが、日々感謝の思いでという態度は素直になかなか表せないのが現状である。また、思春期真っ只中の反抗期の時期とも重なり、素直な態度で接することに照れも見られる。中には、まだ自分は子どもだから家族にしてもらうことが当然だと、家族に対して甘えが見られる生徒もいる。

自我意識が強まりつつある中で、自分のことだけでなく、家族の一員として家族の立場や思いを考えられるよう指導していきたい。

#### (3) 使用する教材の特質及び生徒の実態とかかわらせた指導の方策

本教材は、鎌田實氏が最期を看取った患者とその家族との関わりを通して、自分の成長を願い、無私の愛情をもって育ててくれた父母や祖父母に対して敬愛の念を深めることができる教材である。余命3カ月と知りつつも子供の卒業を見届けたいという母親の姿、その思いをしっかりと受け止めている子供の姿をおさえたい。教材の母親のすごさを感じるだけで終わらず、生徒達自身が家族との関係を自分ごととして捉え、家族の一員として態度や行動で応えるばかりではなく、家族間の思いのやりとりをしっかりと考えさせたい。

### 5 本時で期待する生徒の姿

〔授業前の生徒の考え方〕

- ・親にしてもらって当たり前。
- ・言われれば手伝う。

→ 〔授業を通して高めたい生徒の考え方〕

- ・親の思いを受け止め、受け止めた上で、素直に伝えていきたい。
- ・家族の中での思いのやりとりを大切にしたい。

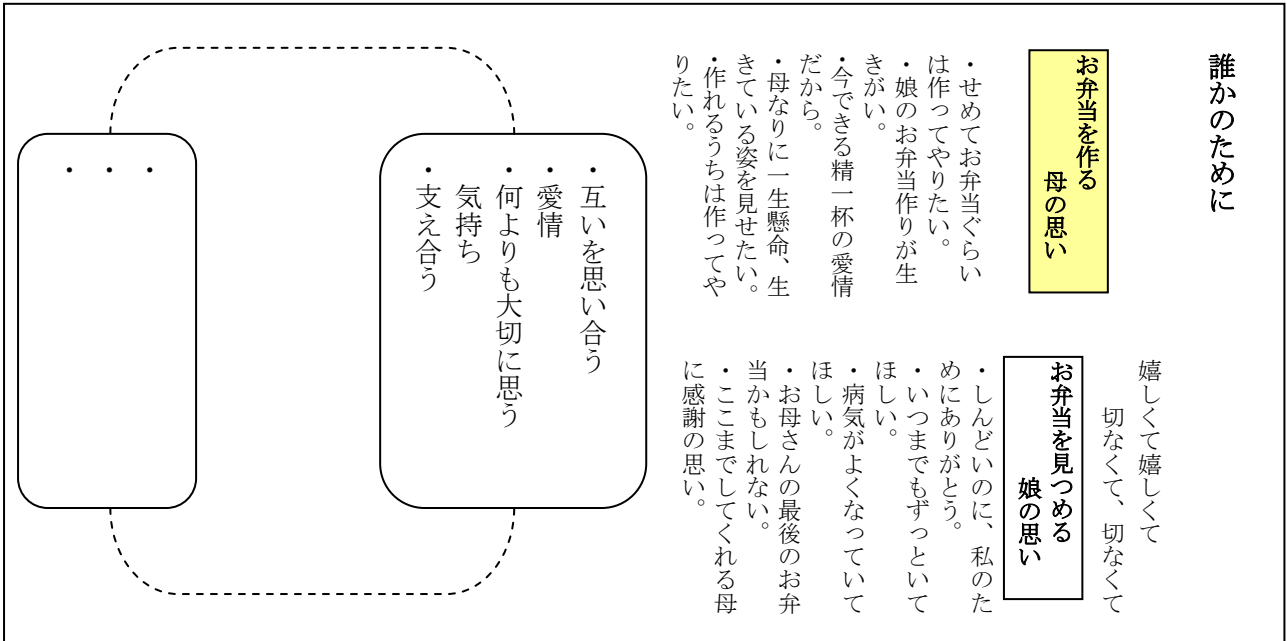
### 6 準備物 ワークシート・掲示物

7 本時の展開

学習活動		主な発問と予想される生徒の反応 ◎中心発問	指導上の留意点
導入	1 家族について考える。	○家族のことを大事にしていますか。それは、どんな時ですか。 ・仕事で忙しい時にご飯を炊いておく ・具合が悪い時に面倒をみる	・導入なのであまり時間を取らない。
展開	2 教材を読み、考える。 (1) 母親の思いについて考える。	○帰る度、どんな思いで娘にお弁当を作っていただろうか。 ・長くは生きられないなら、せめてお弁当ぐらいは作ってやりたい。 ・娘のお弁当作りが生きがい。 ・今できる精一杯の愛情をこめられるもの。 ・母なりに一生懸命生きている姿を見せたい。 ・作れるうちに作りたい。	・通常では、立っていることもできない状態にもかかわらず、娘にお弁当を作る母親の強い愛情を考えさせる。
	(2) 娘さんの思いについて考える。	○久しぶりのお弁当をなかなか手に取ることができなかった。この時、娘さんは、どのような思いでお弁当を見つめていたのでしょうか。 ・しんどいのに、私のためにありがとう。 ・いつまでもずっといてほしい。 ・病気がよくなってほしい。 ・お母さんの最後のお弁当かもしれない。 ・ここまでしてくれる母に感謝の思い。	・母の余命は知っていたであろう。それにもかかわらず、お弁当を準備してくれたことに感じた深い愛情をじっくり考えさせたい。
	3 家族について考える。	◎母親の娘への思いや娘の母親に対する思いからこの家族の間にあるものは何だろう。 ・互いを思い合う。 ・愛情 ・何よりも大切に思う気持ち (補助) ・自分たちの家族の中ではどうだろう？ ・いつも思い合える家族でいられるか？	・家族について多面的・多角的に考えさせる。
終末	4 まとめ	○今日の授業を通して感じたことや感想を書こう。	

[評価の主な視点] 家族の一員として、行動だけに終わらず家族間の思いのやりとりを大事にしていこうとする記述や発言が見られた。

8 板書計画



9 他の教育活動との関連

